

平成 22 年 4 月 23 日現在

研究種目：若手研究(B)  
研究期間： 2007 年度 ~ 2010 年度  
課題番号： 19710199  
研究課題名(和文) ラオスの水田景観における植物多様性保全に関する研究  
研究課題名(英文) Studies on plant species diversity conservation in paddy field landscape in Laos

## 研究代表者

小坂 康之 (KOSAKA YASUYUKI)  
総合地球環境学研究所・研究部・プロジェクト研究員  
研究者番号：70444487

研究分野：複合新領域  
科研費の分科・細目：資源保全学・資源保全学  
キーワード：資源保全、生物多様性

## 1. 研究計画の概要

(1) 本研究の目的は、ラオスの農村の水田景観において、植物相の記載、住民の植物利用や管理法の記録、種多様性が維持されているメカニズムの推定を行い、その結果をもとに地域に適した植物資源管理の方法を考察することである。

(2) 本研究では、「ラオスの自給的な農村では、住民の生業活動の下で、有用な野生植物が農耕地に維持されている」という仮説を検証する。

## 2. 研究の進捗状況

(1) これまでの現地調査では、雨季と乾季に、ラオス北部と中部において、農耕地の野生植物相の記録、除草や採集活動の記録、市場で販売される野生植物の種類、採集場所、利用法の記録を行った。また、ラオスの事例との比較研究として、インド北東部アルナーチャル・プラデーシュ州でも、同様の現地調査を行った。

## (2) 成果

①ラオスの水田にイネと競合するイネ科の強害草が少なく、除草がほとんど行われないうちが多いことが明らかとなった。このことは、水田に多様な野生草本植物が維持されることの要因の1つだと考えられる。

②ラオスでは、貧栄養湿地に生育する希少な植物が、水田にも生育していることが明らかとなった。これは、化学肥料を使用していない水田が、希少な湿地植物に生育場所を提供していることを示している。

③水田と畑地に生育する野生植物のうち、食用となるものは、再生が可能となるように若芽だけが採集されていること明らかとなった。また除草の際にも、有用な野生植物は、意図的に保護されていた。

④比較研究の調査地であるインドのアルナーチャル・プラデーシュ州でも、ラオスの調査地と同様に、水田や畑地にセリ、ハハコグサ、ツボクサ、ドクダミが生育し、除草の際にも除去されずに残され、食用として利用されていることが明らかとなった。

⑤以上の成果を総合すると、本研究の仮説「住民の生業活動の下で、有用な野生植物が農耕地に維持されている」が支持される結果が得られた。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

本研究の仮説を支持する調査結果が集まりつつあるため、順調に進展していると考えられる。2007年度の研究計画では、ラオス南部のアッタプー県も調査対象として考慮していたが、代表者の所属と仕事内容が変わったため、ラオスの調査地は北部と中部のみとし、その代り比較研究としてインド北東部でも調査を行うこととした。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1) ラオスとインド北東部で現地調査を行い、住民の生業活動の下で、農耕地に有用植物が維持されていることを実証する。また、

引き続き、農耕地に生育する野生植物のインベントリーを作成する。

(2) これまでの調査結果をまとめ、2-3本の投稿論文を執筆する。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2件)

- ① 小坂康之, Saikia, B., Mingki, T., Tag. H, 安藤和雄. 2010. 「帰化植物の渡来経路—インド、アルナーチャル・プラデッシュ州の事例から」『ヒマラヤ学誌』(印刷中). (査読有)
- ② Kato, M., Kosaka, Y., et al. (計7名) 2008 Plant-pollinator interactions in tropical monsoon forests in Southeast Asia. American Journal of Botany 95(11): 1375-1394. (査読有)

[学会発表] (計 1件)

- ① 小坂康之. 2008年4月26日. 「ラオスにおける水田雑草の利用」民族自然誌研究会第51回例会. 京大会館.

[図書] (計 2件)

- ① Kosaka, Y. 2009. 「Rice-producing forest」 Akimichi, T. ed. 『An illustrated eco-history of the Mekong River Basin』 White Lotus, Bangkok, pp. 7-10.
- ② 小坂康之. 2008. 「水田の多面的機能」横山智・落合雪野(編)『ラオス農山村地域研究』. めこん, pp. 159 - 189.